

目 次

ガス絶縁開閉装置の標準化	ガス絶縁開閉装置標準化専門委員会
委員会組織	(1)
第1章 総 括	(4)
1-1 ま え が き	(4)
1-2 適 用 範 囲	(4)
1-3 研究結果の概要	(4)
1-4 今後の課題	(7)
第2章 一 般 事 項	(8)
2-1 使 用 状 態	(8)
2-2 定 格	(8)
2-2-1 定 格 電 圧	(8)
2-2-2 定 格 電 流	(9)
2-2-3 定 格 短 時 間 電 流	(9)
2-2-4 絶 縁 強 度	(9)
第3章 全 体 共 通 性 能	(10)
3-1 絶 縁 協 調	(10)
3-2 零 気 圧 耐 電 圧 性 能 の 要 否	(11)
3-3 過 負 荷 容 量	(12)
3-4 耐 震 強 度	(12)
3-5 外 部 表 面 温 度	(13)
3-6 ガス監視区分	(15)
3-7 接 地 方 式	(16)
3-8 塗 装 色 及 び 汚 損 地 区 での 表 面 処 理	(21)
第4章 構 成 機 器	(22)
4-1 遮 断 器	(22)
4-2 断 路 器	(22)
4-3 接 地 開 閉 器	(25)
4-4 変 流 器, 計 器 用 変 圧 器, 避 雷 器 及 び 母 線	(27)
4-5 伸 縮 継 手	(27)
4-6 避 圧 装 置	(29)
4-7 付 属 機 器	(29)
第5章 輸 送 ・ 据 付 ・ 現 地 試 験 ・ 取 合	(31)
5-1 輸 送	(31)
5-1-1 輸 送 方 式	(31)
5-1-2 輸 送 時 に お け る 管 理 上 の 留 意 点	(31)
5-2 据 付	(32)
5-2-1 据 付 手 順, 管 理 基 準	(32)

5-2-2	据付時における管理上の留意点	(34)
5-3	現地耐電圧試験	(34)
5-3-1	現地商用周波耐電圧試験法	(34)
5-3-2	電力ケーブル直流耐電圧試験時のGIS側の措置	(35)
5-4	取 合	(35)
5-4-1	ケーブル接続部の取合	(35)
5-4-2	変圧器接続部の取合	(39)
第6章	運 転 保 守	(41)
6-1	監 視 制 御	(41)
6-1-1	ガス圧監視	(41)
6-1-2	ガス圧低下時の対応	(41)
6-1-3	監 視 盤	(42)
6-2	インターロック	(43)
6-2-1	インターロック方式	(43)
6-2-2	インターロック回路の構成	(43)
6-3	保 守	(44)
6-3-1	点検所要時間	(44)
6-3-2	点検時の安全措置	(44)
6-3-3	点 検 周 期	(45)
6-3-4	取替作業性	(45)
6-3-5	外部診断技術	(46)
第7章	今後の方向性	(48)
7-1	レイアウト	(48)
7-2	今後の技術動向	(53)
7-3	規 格 化	(54)
付録-I	解 説	(56)
解説-1	定格ガス圧力	(56)
解説-2	GISの絶縁協調	(58)
解説-3	GISへの直撃雷について	(62)
解説-4	過負荷容量	(63)
解説-5	国内外の外部表面温度に関する規格例	(64)
解説-6	日射による温度上昇について	(64)
解説-7	主要塗料の性能	(67)
解説-8	GISタンクの熱伸縮量	(68)
解説-9	圧力上昇の計算式及び試算結果	(69)
解説-10	ケーブル接続部の今後の標準化	(69)
解説-11	ケーブル接続部の熱的検討	(71)
解説-12	長期間運転されたSF ₆ ガス遮断器の点検結果	(73)
解説-13	GISレイアウト	(74)
付録-II	GIS関連用語	(84)
付録-III	国内GISの実態	(94)
付録-IV	海外GIS規格・仕様との比較	(124)